

6. 一般社団法人葛力創造舎（福島県葛尾村・郡山市） ～持続可能な地域づくりのための次世代人材の育成プロジェクト～

① 取組背景・地域課題

- 葛尾村では、福島原子力発電所の事故により、住民の多くは郡山市や葛尾村の周辺地域へ避難し、生活の拠点を形成していることから、居住人口は現在でも420人程度となっている。
- 村内外で連携しながら幸せに暮らすことのできる村づくりのために、**地域資源を活かした事業を起こし、収益を地域再投資する仕組み**をつくること重要。また、その循環を可能にする人材を育成し、村に関わってくれる人口を増やすことが重要な課題と捉えている。

② 支援体制

コーディネーター (支援事業者)	(株) BOLBOP
外部専門家 連携団体等	<ul style="list-style-type: none"> ● 葛尾村広谷地集落 ● 葛尾村役場 ● 葛尾村婦人会 ● (株) ヘルベチカデザインほか

③ 本事業の目的と取組内容

**持続可能な地域づくりの核となる人材育成事業（葛力創造塾）の見直しを中心に、
生業事業の創出を含めた全体の経営スキームの再構築を行う**

取組① 中期経営計画の策定 ～持続可能な経営計画～

- ⚡ 各事業のシナジーを含めた団体が持続循環する為の全体スキーム見直し。（ミッション/ビジョンの見直し）
- ⚡ 中期経営計画の策定。（資金計画/組織体制の見直し）
- ⚡ 地域づくり基金の設立までの具体的なマイルストーンの明確化。

- ミッション/ビジョンの見直し
- 中期経営計画の明確化
- 地域づくり基金の設立方針(案)

取組② 葛力創造塾事業の見直し ～持続可能な教育事業～

- ⚡ 人材育成事業のコンテンツの見直し及びブラッシュアップ。
- ⚡ 継続的に受講生を集める為の情報発信/ブランディング体系見直し。
- ⚡ 上記の運営を持続循環させるための、卒業生のスキルアップ及び全体のシステム化の検討。

- 人材育成スキームの見直し
- 新たな人材育成スキームの試行
- 葛力創造塾に参加する新規若者50名

取組③ 生業事業の再構築 ～持続可能な生業事業～

- ⚡ 生業として推進していく事業の絞り込み及び持続循環させるための事業計画の策定・試行。（現在の候補は「商品販売」「食事提供」「イベント企画」）
- ⚡ 人材育成事業との連携スキームの再整理。

- 生業事業の実績創出
- 月の収益10万以上の生業事業が持続循環する為の事業化スキームの明確化